

前営業日のパーツ為替・金利動向

ドルパーツは33台後半で推移

・31日のドルパーツはパーツ安値圏33.98でオープン。米金利が低下しドル売りが優勢だったほか、海外投資家によるタイ国債の買いフローが見られたことで前場のドルパーツはパーツ高値33.85まで上値が重く推移した。しかし、欧州時間にドルパーツは下げ渋ると反転し、33.92でクローズした。

円パーツは22.70台で方向感なく推移

・円パーツは22.78でオープン。米金利が低下しドル円とドルパーツともにドル売り優勢となり、円パーツは22.70台で推移する中で一時パーツ高値22.71を示現し、22.74でクローズした。

タイイールドカーブはフラット化

・米金利の低下がタイ債券市場にも波及し、海外投資家によるタイ国債の買いフローも旺盛だった。短期ゾーンでパーツ金利は2-3bp程度低下し、中長期ゾーンでパーツ金利は6-8bp程度まで急低下した。タイイールドカーブはフラット化した。

本日の相場見通し・予想レンジ

米関税の内容を控えてドルパーツは34を挟んで推移を予想

・トランプ大統領は「早ければ明日(米国時間1日)の夜、関税の詳細が明らかになる」と発言した。ホワイトハウスのレビット報道官によると、発表は「国ベースの」関税に関するものだが、トランプ氏は別の機会にセクター別の関税を導入することにも注力している。米関税の内容が発表するまで市場のリスク警戒感が継続しやすく、本日はドルパーツは34を挟んで推移するものと予想する。関税詳細公表後の相場変動には留意していおきたい。

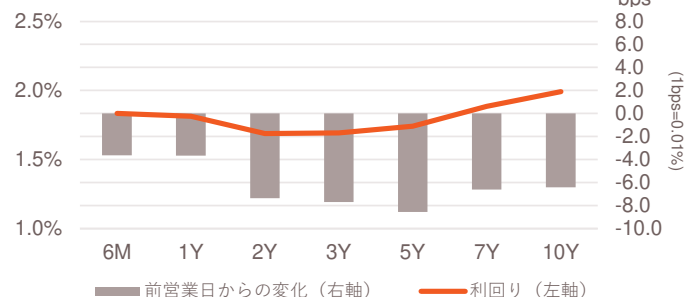
USD/THB	JPY/THB	USD/JPY	EUR/USD
33.85-34.10	22.45-22.85	149.00-151.00	1.0760-1.0860

パーツ為替相場推移



(出所) Reuters

タイ国債利回り



バンコクそぞろ歩き

バンコクでの地震①

筆者:PS

タイでは地震はめったにありませんが、3月28日にバンコクで地震を経験しました。日本では地震を経験した事がありますが、タイでの地震は初めてでした。その日、KSオフィスの28階に居た私は、突然めまいを感じました。寝不足か、それとも運動のし過ぎか、最初に思い浮かんだのはそのどちらかでした。しかし、めまいを感じていたのは私だけではないと気付いた途端、建物の揺れが次第に激しく

なっていました。地震が起こったとわかったとき、私はすぐに机の下に潜りました。そのとき、オフィスの人々の反応は大きく二つに分かれていました。一つはパニックに陥り慌てて建物を駆け降りるタイ人たち。もう一つは、動揺しながらも冷静さを保つ日本人たちでした。その日本人たちの姿を見て、私も次第に落ち着きを取り戻しました。恐らくそれほど深刻ではないかもしないと思えました。

